

(前提条件)
 ・当社グループが事業展開をしている各国において、第2四半期までに非常事態宣言やロックダウン等が解除されるが、同期間の経済活動等に大きな影響を受ける。
 ・第3四半期から経済活動等が徐々に回復していくが、北米・南米等の一部地域では新型コロナウイルス感染症の第2波の襲来により、継続的に影響を受ける。

2020年7月8日修正箇所
 2020年7月30日修正箇所

(単位:億円)									
	FY20 予想	FY19 実績	差額	FY19 9M実績	FY19 1H実績	FY19 1Q実績	FY18 実績	FY17 実績	対前年 増減要因または主要施策
売上高	10,317	10,846	▲ 529	8,114	5,251	2,608	11,000	10,874	【調味料】 国内外における、内食傾向の高まりによる家庭向け製品の需要増加の一方、外食機会の減少による業務用製品の需要減少により全体で減収を見込む。
調味料・食品	6,133	6,417	▲ 283	4,855	3,083	1,520	6,437	6,413	【栄養・加工食品】 国内は内食傾向の高まりによる家庭向け製品の需要増加の一方、海外は一部地域での市場の低迷を見込み、全体として減収を見込む。
調味料	2,704	2,930	▲ 225	2,211	1,419	696	2,956	2,932	【ソリューション&イングリディエンツ】 外食機会の減少による業務用製品の需要減少により減収を見込む。
栄養・加工食品	1,892	1,936	▲ 43	1,456	889	439	1,934	1,954	
ソリューション&イングリディエンツ	1,536	1,551	▲ 15	1,186	773	383	1,546	1,525	
冷凍食品	1,874	2,112	▲ 238	1,573	1,032	513	2,130	2,075	【冷凍食品】 国内は家庭用は「ギョーザ」等の主力カテゴリーの需要が伸長する一方、業務用は外食・給食向け中心に需要が大幅に減少し減収を見込む。海外はリチール向け需要が大幅に増加する一方、フードサービス向けの需要が大幅に減少し減収を見込む。全体で減収を見込む。
冷凍食品	1,874	2,112	▲ 238	1,573	1,032	513	2,130	2,075	
ヘルスケア等	2,309	2,316	▲ 7	1,685	1,135	575	2,432	2,385	【アミノ酸】 医薬用アミノ酸の需要が増加する一方で、スポーツイベント中止による食品用アミノ酸需要の減少により減収を見込む。バイオファーマサービス(旧製薬カスタムサービス)では、顧客の開発計画の遅れにより減収を見込む。
アミノ酸	954	985	▲ 31	676	462	236	940	821	【化成品】 データセンター向けサーバー用途やネットワーク用途拡大により増収を見込む。
医薬用・食品用アミノ酸		約445		約325	約230	約125	約425	約365	【その他】 香料品素材の需要増加や動物栄養の一時的な価格上昇による増収を見込む。スポーツニュートリションは、スポーツオケージョンの減少により減収を見込む。全体で増収を見込む。
バイオファーマサービス		約545		約350	約230	約110	約515	約460	
化成品	375	363	12	270	177	85	327	291	
その他	978	967	11	738	496	252	1,164	1,271	
事業利益*1	770	1,012	▲ 241	826	471	268	938	978	【調味料】 減収による減益を見込む。
調味料・食品	683	816	▲ 132	681	386	220	740	771	【栄養・加工食品】 減収も、前期、プロマシドールホールディングス社の減損損失の反動による増益を見込む。
調味料	503	622	▲ 118	483	299	151	588	578	【ソリューション&イングリディエンツ】 減収による減益を見込む。
栄養・加工食品	171	168	3	136	52	50	162	203	
ソリューション&イングリディエンツ	218	228	▲ 9	203	131	68	195	193	
全社共通費	▲ 210	▲ 203	▲ 7	▲ 142	▲ 96	▲ 50	▲ 206	▲ 204	
冷凍食品	▲ 41	0	▲ 42	22	13	7	▲ 18	32	【冷凍食品】 減収による大幅減益を見込む。
冷凍食品	22	65	▲ 43	66	44	23	47	96	
全社共通費	▲ 63	▲ 65	1	▲ 44	▲ 30	▲ 16	▲ 65	▲ 64	
ヘルスケア等	128	195	▲ 66	123	71	40	216	174	【アミノ酸】 減収による減益を見込む。
アミノ酸	101	147	▲ 46	86	55	27	125	99	【化成品】 増収も減益を見込む。
化成品	131	136	▲ 4	101	65	30	115	94	【その他】 動物栄養は、増収による増益を見込む。スポーツニュートリション等の減収もあり、全体で減益を見込む。
その他	▲ 24	▲ 11	▲ 12	▲ 9	▲ 12	1	52	56	
全社共通費	▲ 79	▲ 77	▲ 2	▲ 54	▲ 37	▲ 19	▲ 76	▲ 75	
その他									対前年 増減要因または主要施策
売上高	162	153	8	109	70	28	142	273	
事業利益*1	9	▲ 19	29	6	4	7	▲ 6	▲ 21	
全社共通費	▲ 17	▲ 22	4	▲ 15	▲ 10	▲ 5	▲ 26	▲ 22	主に、前期、持分法適用会社の減損損失の反動による増益を見込む。
総合計									
売上高	10,480	11,000	▲ 520	8,224	5,322	2,637	11,143	11,147	
事業利益*1	780	992	▲ 212	833	476	276	932	956	

*1 当社が経営管理のために独自に定義した利益指標
 事業利益(連結ベース) = 売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益
 *2 当連結会計年度までの報告セグメントは「日本食品」「海外食品」「ライフサポート」「ヘルスケア」の4区分としていましたが、翌連結会計年度(2021年3月期)より、事業領域ごとにグローバルで管理する体制への移行を反映するため、「調味料・食品」、「冷凍食品」、「ヘルスケア等」の3区分に改めております。

(参考)FY20業績予想 地域セグメント別 売上高

(単位:億円)									
	日本		アジア		米州		EMEA*1		合計
売上高	2,841	(25)	2,323	(▲ 191)	649	(▲ 102)	318	(▲ 15)	6,133 (▲ 283)
調味料・食品	2,816		2,514		751		334		6,417
冷凍食品	946	(▲ 29)	35	(1)	824	(▲ 175)	67	(▲ 34)	1,874 (▲ 238)
ヘルスケア等	975		34		1,000		101		2,112
その他	871	(▲ 29)	120	(11)	564	(▲ 36)	752	(47)	2,309 (▲ 7)
全社共通費	900		109		601		704		2,316
合計	151	(▲ 2)	2	(2)	-	-	7	(7)	162 (8)
	153		0		-	-	-		153
	4,811	(▲ 35)	2,482	(▲ 175)	2,039	(▲ 314)	1,146	(5)	10,480 (▲ 520)
	4,846		2,658		2,353		1,141		11,000

上段: FY2020予想、下段: FY2019、()内は増減額。
 *1 Europe, the Middle East, Africa

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の業績に与える影響

(単位:億円)						
	日本		海外(アジア、米州、EMEA)		合計	
	売上高	事業利益	売上高	事業利益	売上高	事業利益
調味料・食品	▲ 47	▲ 2	▲ 338	▲ 138	▲ 386	▲ 141
冷凍食品	▲ 37	▲ 10	▲ 170	▲ 41	▲ 208	▲ 51
ヘルスケア等	▲ 60	▲ 30	▲ 108	▲ 6	▲ 169	▲ 37
合計	▲ 144	▲ 43	▲ 618	▲ 185	▲ 763	▲ 229

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
 ・本資料は、監査を受けていない参考値が含まれます。
 ・本資料の金額は、切り捨てで表示しております。